

戸田 (1987): 心をもった機械 ソフトウェアとしての「感情」システム, ダイヤモンド社
キーワード

第 2 章 「感情」のルーツを探る

pp.33 - 36: 野生合理性 (wilderness rationality)

pp.37 - 40: 恐れ (fear)

appraisal (of [internal and external] situation)

mood states: アージ強度 (Urge Intensity)

urge activity plan (action plan): 応変プログラム (versatile software)

urge intensity: subjective value, self-confidence and available time

pp.40 - 44: 不安 (anxiety), panic 同調行動 (conformity)

pp.45 - 47: Urge: motivation: 状況に応じた適切な行動選択のためには何を考えて何をすればいいか
の大枠を先天的に決めているプログラム

pp. 47- 49: 4 種類のアージ: 緊急事態アージ、維持アージ、認知アージ、社会性アージ

pp. 50 - 52: 空腹アージの appraisal

pp. 52 - 55: 認知アージ: 伝道アージ (preach, mission etc: to tell the truth or very important
information) 好奇心 (curiosity)

pp.55 - 58: 社会性アージ (協力関係の必要性)

協力アージ reciprocity of helping 感謝アージ (gratitude) 恩返し (debt)

pp.59 - 62: help (fear) 感情の並列処理 (inter-related and parallel) 心理学では篤志家 宗教では愛

第 3 章 人間関係のルール・メーカーとしての「感情」担当

pp. 65 - 81: 集団の協力体制を支えるアージ群 集団の性質 (順位性、リーダー)

pp. 81 - 88: 男女の連合体に関するアージ (愛と恋、嫉妬、憎しみ)

pp. 89 - 99: その他の社会的アージ (甘え、意地、誇り、誇示、ねたみ)

pp.99 - 102: ムード